

令和 3 年度

教育委員会点検・評価報告書
(対象：令和 2 年度事業)

令和 3 年 9 月
柳井市教育委員会

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

柳井市教育委員会では、法の規定に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、令和2年度の教育委員会の取組の執行状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見も踏まえた上で、点検及び評価を行いました。その結果をまとめましたので、報告します。

2 点検及び評価の実施について

（1）評価の対象とした取組

柳井市は、平成27年11月に「柳井市教育大綱・柳井市教育振興基本計画」（計画期間：平成28年度～令和2年度）を策定し、教育目標を「愛・夢・志をはぐくむ教育」と定め、サブタイトルを「スクール・コミュニティによる教育のまちづくりの推進」としました。

計画では、学校を中心に様々な年齢層の市民が交流を深め、新たな絆を生み出し、学校、家庭、地域が一体となった人づくり・まちづくりを推進することによって、教育目標の達成を目指すこととしています。

評価の対象とした取組は、この計画に基づき、令和2年度に教育委員会が実施した事務事業のうち、「令和2年度柳井市の教育計画」に掲げた主要な取組としました。そして、これらを「柳井市教育振興基本計画」に定める具体的施策ごとに分類して、点検及び評価を行いました。

（2）評価の方法

取組の内容、実績と成果、経費の執行状況、課題などを内容とする「取組の点検・評価票」を作成し、下記の評価基準に基づき、教育委員会事務局が内部評価を行うとともに、評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者として教育委員会が委嘱した3人の委員による外部評価を実施しました。

（評価基準）

A：目的に向け、順調に取組を達成できた。

B：取組における改善事項はあるものの、概ね（8割程度）目的を達成できた。

C：目的の一部（5割程度）を達成できたが、取組の改善が必要である。

D：目的の一部（2割程度以下）しか達成できず、取組の抜本的な改善が必要である。

一：評価対象年度（令和2年度）に一時的に事業が実施できなかったもの、事業が始まっていないもの及び事業が完了したもので、評価できないもの

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業の中止又は縮小等により計画通り実施できない事業が複数発生しました。こうした事業は、上記の評価基準により評価を行うため、必然的に評価が下がる仕組みになっています。このことから、評価に新型コロナウイルス感染症の影響があった事業を明らかにするため、評価値の前に※印をつけています。

(※A、※B、※C、※D)

3 点検及び評価の結果について

(1) 事務事業の評価結果（全体）

評価対象年度	業務数	業務評価 ※新型コロナウイルス感染症の影響あり								
	構成比(%)	A	B	C	D	—	※A	※B	※C	※D
令和2年度	102	21	42	6	0	4	0	4	17	8
	構成比(%)	20.6	41.2	5.9	0	3.9	0	3.9	16.7	7.8

(2) 事務事業の評価結果（教育委員会箇所別）

担当課	業務数	業務評価 ※新型コロナウイルス感染症の影響あり								
	構成比(%)	A	B	C	D	—	※A	※B	※C	※D
教育総務課	8	3	2	3						
	構成比(%)	37.5	25.0	37.5						
学校教育課	52	14	25			1		4	8	
	構成比(%)	26.9	48.1			1.9		7.7	15.4	
生涯学習・スポーツ推進課	27	2	10			1			6	8
	構成比(%)	7.4	37.0			3.7			22.2	29.6
人権教育室	2	1	1							
	構成比(%)	50.0	50.0							
文化財室	5	1		1		1			2	
	構成比(%)	20.0		20.0		20.0			40.0	
図書館	4		2	1		1				
	構成比(%)		50.0	25.0		25.0				
サンビームやない	3		2	1						
	構成比(%)		66.7	33.3						
学校給食センター	1								1	
	構成比								100	
総計	102	21	42	6	0	4	0	4	17	8
	構成比(%)	20.6	41.2	5.9	0	3.9	0	3.9	16.7	7.8

(3) 個別の点検・評価の結果について

別紙のとおり

4 学識経験者の知見について

(1) 点検及び評価全般について

- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止又は延期になった事業もあったが、コロナ禍の中でも、予想以上に色々な取組がなされおり、事業の実施に向けて、相当な努力がなされているものと推察される。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止等の措置はやむを得なかったと思うが、中止等になった場合の評価については、これまでの状況と違うので、評価の仕方に工夫が必要である。
- ・新型コロナウイルスワクチン接種が進められ、少しは落ち着くかもしれないが、まだまだ、これから先も見通せない状況である。コロナ禍の中で、より充実を図っていくことや、コロナ禍だからこそ進めていくこともあると思うので、積極的に取り組んでいただきたい。
- ・柳井市教育振興基本計画（2期）のアンケート結果において、いじめ防止、不登校への対応については、満足度が低い傾向となっている。すぐに対応できるものではないが、不登校は増加しており、より一層課題解決のための取組を強化して欲しい。
- ・芸術・文化の振興は、柳井市教育振興基本計画（2期）のアンケート結果において、満足度及び重要度のどちらも低くなっているため、もう少し、力を入れていただきたい。
- ・教育委員会の取組や対応を見ると、丁寧・迅速で、熱意が感じられ、有難いと思う。併せて、事業効果についても確認をお願いしたい。
- ・スクール・コミュニティセンターは、情報センター機能の役割を持っているので、学校や地域の方が、何を必要としているのか、何を強化すべきなのかを考慮し、柳井市のスクール・コミュニティの充実に向けて取り組んでほしい。
- ・取組の点検・評価票について、前年度の経費と評価が記載されて、評価しやすいよう改善されている。

(2) 取組ごとの知見

【自分を愛し、人を愛し郷土を愛する教育の推進】

- 1 従来の人権教育については、女性、子ども、高齢者、障がい者などの項目であったが、最近ではインターネットによる人権侵害や、新型コロナウイルス感染症感染者に対しての偏見、差別などが問題となっている。新しい課題も出てきており、人権は非常に大事なことで、幅広く人権課題に取り組むよう努めていただきたい。
- 4 しらかべ学遊館の社会教育指導員の業務は、家庭教育や、青少年の健全育成、子ども会等の充実を図ることを目的にしていることから、教職経験者も含めて、今後も、広く目を向けられ、経験豊かな人材を確保するとよいのではないと思う。

図書館は、毎月テーマが決められ、本の展示がなされており、とても分かりやすくなっている。大活字本は1階に移動されており、高齢者にとって利用しやすくなっている。司書は親切で対応も良く、図書館に行きたくなるような雰囲気作りがなされており、評価を上げて良いと思う。

- 7 公民館運営審議会は、地域のニーズに合わせた公民館の充実を図るために開催している。計画段階での1回目と、反省と見直しを図るための2回目が必要だと思うので、運営審議회를年2回に増やすと良いと思う。
- 8 現在の青少年の課題は、人間関係づくりや、ひきこもり、不登校、ニート、インターネットの不適切な使用などの多岐に渡っている。青少年の健全育成のためには、街頭補導の在り方を見直す時期に来ているのではないだろうか。
- 9 中・高校生徒指導連絡協議会へは、情報収集を目的にオブザーバー参加しているが、市教委と学校との連携を充実していくためにも、開催回数を増やす働きかけをしてはどうだろうか。
- 11 サンビームやないで実施している「スタインウェイを弾く会」については、面白い企画であるので、PRをしっかりとされると良いと思う。
- 21 ゲストティーチャーによる授業は、どの学校でも実施され、良い仕組みとなっている。ティーム・ティーチングによる指導なので、担任が主に指導していく中で、ゲストティーチャーが関わる場を適切に計画すると、更に効果が上がると思う。

【夢をはぐくむスクール・コミュニティづくりの推進】

- 22 柳井市スクール・コミュニティ総合コーディネーターが、各学校の学校運営協議会に参加し、支援している。今後は、運営協議会長や学校長と改善方法を一緒に考えていくことに力を入れれば、更に学校運営協議会は良い方向になると思う。
- 23 市内小中学校のコミュニティ・スクール運営推進書の内容は、非常に良くできている。今後、学校運営協議会の中で、学校、家庭、地域が協議し、一緒に作り上げていくと、目標の達成に近づくのではないだろうか。
- 24 学校運営協議会の議事録を作成し、教職員にも議事録を開示し、情報の共有化を図っている学校がある。また、地域の方の意見を参考にし、授業の改善を図り、そのことを次の学校運営協議会で発表する学校もある。このことは、運営委員の励みにもなり、教職員の意識を高めることにも繋がり、良くなっていると感じられる。
- 25 地域住民と学校との交流を図るコミュニティ・ルームについては、地域によって活用は様々である。新型コロナウイルス感染症の影響により十分な活動ができていない面もあるが、地域住民が主体となって、色々なことをやろうとする意識を醸成し、スクール・コミュニティに繋げてほしい。
- 28 学校応援団登録者の新規登録は、前年度より135人の増加となっており、良い傾向となっている。一方、高齢等の事由で、辞退を希望される方もいるので、

登録者名簿の管理も必要だと思う。

学校応援団の前身である学校支援ボランティアは、人材バンク的な要素があり、特別な技能を持たれた人も登録されていた。こういった方々は、学校からのニーズは少ないかもしれないが、地域連携コーディネーターの仲介によって、全登録者が年に1回は、学校と関われる仕組みづくりが必要だと思う。

各学校に学校応援団が組織され、学校の支援ニーズに対し、皆で協議しながら、一緒に取り組んでいるので、学校と地域との連携は、これまで以上に進んでいるように感じる。

- 40 放課後子ども教室については、これまで学習支援のボランティアが頑張っていたが、現在は新型コロナの影響で、今までと同じ取組が難しく、児童生徒の学習習慣や基礎学習の定着の面で気にかかる。コロナ禍を考慮した評価の在り方について、検討が必要だと思う。

また、学校とボランティアが共通理解し、内容の充実と質の向上を図っていく必要があると思う。

【志を実現させるための力の育成】

- 41 ジュニア数学オリンピックは、参加者が少なく、先生方の負担も大きいことから、中止等を検討する時期にきていると思う。

- 42 家庭学習の大切さに焦点を当てた「学びのサイクル」は、家庭の協力を前提としているが、今の各家庭の実情を考えると、取組が難しい家庭も多いように思う。

また、働き方改革の中でバランスを取りながら、教員が子どものやってきた宿題をしっかりと確認し、次につながる指導をすることも大切だと思う。

学校と家庭で連携し、家庭でできる内容や、家庭で機能するかの面を踏まえて、「学びのサイクル」を改善する必要があると思う。

- 50 二分の一成入式については、色々な学校の取組を拝見させていただいたが、児童が涙ながらに親に手紙を読み感動的な場面もあり、素晴らしい取組だと思う。

- 59 「週1アンケート」の実施については、アンケート実施後に、先生方がどのように取り扱うかが大事なので、いじめの早期発見・対応に繋げて欲しい。

- 66 学校の業務改善については、行政の評価と現場の教員の評価では違いがあると思う。教員の働き方改革にどう繋げていくかが重要なポイントだと思う。

【基本方針を支える環境整備】

- 67～69 情報発信の充実ということでは、全体的にC評価が多くなっており、ホームページなどの活用について、今後、評価を上げるためにどのような取組が必要か、知恵を絞っていくことが必要だと思う。

- 69 学校行事のお知らせは、学校からメールが一斉送信され、とても分かりやすく色々な情報が入ってくるので、非常に評価できる。

5 今後の取組について

新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年3月には全国で一斉に学校の臨時休業措置が取られ、本市においても4月の新学期早々に、5月下旬までの再度の臨時休業に入りました。市主催のイベント等も次々に中止又は縮小等になり、これまでに経験をしたことがない事態に直面しました。

本市においては、これまで当然のように行ってきた教育活動・学校行事の中止や見直しを行う中、児童生徒の心身の健康を守ること、学びを止めないことを最優先に考え、取り組んできたところです。

社会全体が当感染症とともに生きていかなければならないという認識に立ち、今後も安全・安心な学びの場を確保し、感染拡大防止と教育活動の両立ができるように努めてまいります。

令和3年度から「第2期柳井市教育振興基本計画」がスタートしました。教育目標は引き続き、「愛、夢、志をはぐくむ教育～スクール・コミュニティによる教育のまちづくりの推進」となっています。事務事業の取組を効率的・効果的に遂行するため、取組の点検・評価票の中の実績と成果を分析し、学識経験者の知見等を踏まえ、課題の解決に努めてまいります。

●教育目標

愛、夢、志をはぐくむ教育

～ スクール・コミュニティによる教育のまちづくりの推進 ～

●基本方針

愛 自分を愛し、人を愛し、郷土を愛する教育の推進
～自己肯定感、他者肯定感、地域肯定感の育成～

夢 夢をはぐくむスクール・コミュニティづくりの推進
～学校、家庭、地域の連携による人づくり、まちづくりの推進～

志 志を実現させるための力の育成
～「生きる力」の確実な育成を基盤としたキャリア教育の推進～

●具体的施策

愛の1

人権教育の推進

愛の2

生涯学習の推進

愛の3

青少年の健全育成

愛の4

芸術・文化の振興

愛の5

スポーツ・レクリエーション活動の振興

愛の6

歴史・伝統の継承と保護

愛の7

郷土教材の開発と地域人材による郷土学習

夢の1

学校運営協議会の機能の強化

夢の2

学校支援ボランティアのさらなる充実

夢の3

地域協育ネットの充実

夢の4

幼保小中高連携の強化

夢の5

家庭教育充実のための支援の強化

夢の6

放課後子ども教室の充実

志の1

「確かな学力」の育成

志の2

「豊かな心」の育成

志の3

「健やかな体」の育成

志の4

キャリア教育の推進

志の5

特別支援教育の充実

志の6

生徒指導の充実

志の7

幼児教育の充実

志の8

教職員の資質の向上

基本方針を支える環境整備

- (1) 情報発信の充実
- (2) 安全で快適な学びの環境づくり
- (3) 図書、教材、教具の整備充実

個別の点検・評価の結果について

施 策 名	NO	取 組 の 名 称	経 費 (千円)	評価	担当課
人 権 教 育 の 推 進	1	人権教育研修会の開催	2 1 7	A	人権教育室
	2	指導者の養成及び資質向上のための研修会開催	1 0 0	B	
生 涯 学 習 の 推 進	3	学習情報の提供	1 4	B	生涯学習・スポーツ推進課
	4	しらかべ学遊館との連携	4, 2 2 3	B	図書館
		蔵書の充実	3, 5 0 5	B	
		レファレンス・サービスの充実	—	B	
		高齢者向け資料の充実	1 4	C	
		複合図書館の環境整備	—	—	
	5	各種研修会への参加	3	B	生涯学習・スポーツ推進課
		公民館各種教室・講座の開催	2 0 1	※C	
	6	公民館まつり等の開催	—	※D	
	7	講演会の実施	1 9	A	
		公民館の建設	8 0, 0 2 7	A	
		公民館の管理運営	1 5, 4 7 7	B	
		社会教育（生涯学習）施設の活用及び運営・管理	6 7 4	B	
	青 少 年 の 健 全 育 成	8	街頭補導の実施	1, 6 2 0	
9		中・高生徒指導連絡協議会への参加	—	※D	
		成人祝賀式の開催	1 1	※D	
芸 術 ・ 文 化 の 振 興	10	美術展覧会及び生活芸術展覧会の開催	2 9 1	※C	サンビームやない
		貸館事業の充実	2 4, 7 2 4	B	
	11	柳井文化連盟の機能強化	—	※C	生涯学習・スポーツ推進課
		自主文化事業の開催	8 7	B	サンビームやない
	12	施設の適正な管理運営	1 1, 3 4 1	B	生涯学習・スポーツ推進課
		施設の維持管理	3, 1 8 2	C	サンビームやない
ス ポー ツ ・ レ ク リ エー シ ョ ン 活 動 の 振 興	13	スポーツ活動への参加促進	0	※D	生涯学習・スポーツ推進課
	14	スポーツに関する競技水準の向上推進	1, 7 6 4	※D	
	15	スポーツを通じた青少年の健全育成及びスポーツ指導者等の育成、活用及び連携	—	※D	
	16	地域交流及び情報発信の推進	—	※D	
	17	施設の整備及び利用の促進	2 4 0, 0 3 0	※C	

		スポーツに関する功績者（個人・団体）の顕彰	—	B	
		弓道場の建設	—	—	
歴史・伝統の継承と保護	18	文化遺産の保全と活用	1, 7 9 7	※C	文化財室
		伝統的建造物群保存地区の保存事業	—	—	
		歴史・伝統関連施設の活用	1 1, 1 9 3	※C	
		埋蔵文化財保存調査事業の実施	2 4, 5 5 4	A	
	19	活動の支援と後継者の育成	—	B	生涯学習・スポーツ推進課
郷土教材の開発と地域人材による郷土学習	20	地域の文化財や歴史的事象を生かした教材開発	2, 4 2 6	A	学校教育課
		文化財等の利活用	—	C	文化財室
	21	ゲストティーチャーによる授業	1 0	B	学校教育課
学校運営協議会の機能の強化	22	スクール・コミュニティだよりの発行	1 0	B	学校教育課
		学校運営協議会への支援	1, 1 5 5	B	
	23	コミュニティ・スクール運営推進書の作成	—	B	
		地域に開かれた学校要覧の作成	4 5	B	
	24	校内体制の整備	—	B	
	25	コミュニティ・ルームの活用	—	※C	
学校支援ボランティアのさらなる充実	26	学校応援団研修会の実施	1 0	※C	学校教育課
	27	スクール・コミュニティだよりの発行（再掲：No. 22）	1 0	B	
	28	新たな学校応援団登録者の募集	2 5 7	A	
	29	学校を単位としたボランティアの組織化	—	—	
地域協育ネットの充実	30	地域協育ネット協議会への参加	—	B	学校教育課
	31	スクール・コミュニティだよりの発行（再掲：No. 22）	1 0	B	
幼保小中高連携の強化	32	幼保・小連携協議会の開催	—	※C	学校教育課
	33	小学校教員による幼児教育・保育体験	—	※B	
	34	相互乗り入れ授業の実施	—	B	
	35	校種間連携を推進するための各種協議会の開催	—	B	

家庭の教育 力を高める ための支援 の強化	36	啓発活動による支援	—	B	生涯学習・スポ ーツ推進課
	37	少年安全サポーターの活用	—	※C	
	38	学びのサイクルの質的な向上	—	B	学校教育課
放課後子ど も教室の充 実	39	しらかべ学遊館放課後子ども教室の開 催	—	※D	生涯学習・スポ ーツ推進課
	40	各学校における放課後子ども教室の開 催	—	※C	
「確かな学 力」の育成	41	年間授業時数の確保	—	B	学校教育課
		ジュニア数学オリンピックの開催	—	※C	
	42	学びのサイクルの質的な向上 (再掲：No. 38)	—	B	
	43	学校図書館の整備	2, 4 1 7	B	
	44	学力向上担当を集めた研究集会の実施	—	A	
「豊かな心」 の育成	45	体験活動の年間指導計画へに位置づけ	—	A	学校教育課
「健やかな 体」の育成	46	体力・運動能力の向上	—	※C	
	47	課題に即した学校保健活動	6 0 0	※C	
	48	食に関する指導研修会の実施	—	A	
		巡回訪問	—	※C	学校給食センター
	49	危険予測学習の実施	—	A	学校教育課
キャリア教 育の推進	50	二分の一成人式、立志の集いの実施	—	A	
	51	キャリア・パスポートの活用	8 5	B	
特別支援教 育の充実	52	情報連絡協議会の開催	—	A	
	53	園・所への巡回訪問の実施	—	A	
	54	校内コーディネーター研修会の開催	—	※C	
	55	特別支援教育推進週間の実施	—	A	
生徒指導の 充実	56	異年齢交流活動の実施	—	※B	
	57	スクールカウンセラーの配置・訪問支 援	—	B	
	58	スクールソーシャルワーカーの配置	6 0 0	A	
	59	「週1 アンケート」の実施	—	B	
	60	生徒指導主任研究集会の開催	—	B	

幼児教育の 充実	61	幼保・小連携協議会の開催 (再掲：No. 32)	—	※C	学校教育課
	62	小学校教員による幼児教育・保育体験 (再掲：No. 33)	—	※B	
教職員の資 質向上	63	綱紀保持研修の実施	—	A	
	64	人材育成の研修会開催	60	※B	
	65	指導主事と教諭がテーマを決めた研修 会の開催	—	A	
		教科「外国語科」の導入に向けた教員 の指導力向上	—	B	
	66	業務改善対策会議の開催	—	B	
		コミュニティ・スクール運営推進書へ の位置付け	—	B	
情報発信の 充実	67	更新状況の確認	—	C	教育総務課
		興味・関心のあるホームページの開設	—	B	学校教育課
	68	学校へのサポート	—	B	
	69	S N S等を利用した情報発信の検討	—	C	教育総務課
		学校行事等のお知らせ	—	A	学校教育課
安全で快適 な学びの環 境づくり	70	新たな柳井市立小中学校整備計画の策 定	—	B	教育総務課
	71	学校施設の耐震化	368,459	A	
		学校施設の改修	140,350	A	
図書、教材、 教具の整備 充実	72	学校図書館図書標準の向上	5,238	C	学校教育課
		学校図書館の整備 (再掲：No. 43)	2,417	B	
	73	I C T環境の整備	276,261	A	教育総務課
		学校教材・備品の計画的な整備	9,425	B	

※経費欄の「—」は、予算執行を伴わないソフト事業又は実績がない事業。

評価欄の「—」は、一時的に事業が実施できなかった事業、事業が始まっておらず評価できな
い事業又は事業が終了し評価できない事業。